

令和6年度 さが林業アカデミー（林業講習会）



-1-

令和7年1月8日～2月28日

さが林業アカデミー（林業講習会）の目的

- 林業の基礎的知識の習得
- 林業に必要な技能の習得
- 林業に必要な資格の取得
- 林業就業実体験研修（林業事業体の現場）

-2-

講習会スケジュール(実日数≒29日)

日 程	(日数)	内 容	場 所	備 考
1月8日	(0.5日)	入講式	林業試験場	
1月8～9日	(1.5日)	林業基礎(原木市場見学等)	県森連木材共販所他	
1月14日	(1.0日)	刈払機(座学)	林業試験場	安全衛生教育
1月15～17日	(3.0日)	〃 (実技・実習)	嬉野県有林	〃
1月20～21日	(2.0日)	伐木等作業(座学)	林業試験場	特別教育
1月22～28日	(5.0日)	〃 (実技・実習)	嬉野県有林	〃
1月30～31日	(2.0日)	高性能林業機械(座学) 走行集材機械の運転の業務 伐木等機械の運転の業務	林業試験場	特別教育
2月3～8日	(6.0日)	車両系建設機械運転技能講習	キャタピラー九州(株) 佐賀教習センター	技能講習
2月10～14日	(4.0日)	高性能林業機械(実技・実習) 走行集材機械の運転の業務 伐木等機械の運転の業務	嬉野県有林	特別教育
2月18～20日	(3.0日)	林業就業実体験研修	県内林業事業体	
2月28日	(0.5日)	修了証授与式	林業試験場	

-3-

1月8日 (0.5日) 入講式 林業試験場



受講生の自己紹介



-4-

○佐賀県の森林・林業の現状等を学ぶ
○森林施業の基本を学ぶ
○木材生産の基礎を学ぶ

○丸太の販売・取引を学ぶ



木材の構造と材質等の説明



原木市場の視察

-5-

受講生の声（抜粋）〈林業基礎〉

- ・ 市場に行って自分達の伐った材がどの様に取り引きされ、役に立っているのか良く理解できた。
- ・ 全国と佐賀県の林業の現状や、林業が社会にどのように関わっているのかなど基礎的な知識を学んだので、周りにも共有出来たらと思う。
- ・ 望ましい森林の姿にするため、森林整備の必要性を理解できた。
- ・ 森林があることによって自然災害リスク軽減にも繋がるということも学ぶことができた。
- ・ 自分達が森林を守る事により、そこに住んでいる人達の命も守ることができるやりがいのある仕事だと思った。

- 安全衛生教育修了証を発行
- 刈払機の構造、使用方法などを学ぶ
- いろいろな型式、刈刃のタイプ別の利点を学ぶ



-7-

受講生の声（抜粋）〈刈払機〉

- ・これまでチップソーを多く使用していたが、3枚刃を使用してみても、3枚刃が非常に使用し易かった。
- ・用途等に合わせた刈刃の選択をしたい。
- ・等高線沿いに（列状で）刈払いを行ったが、かん木の量や立木的位置によっては列を外れてしまったので、もっと経験を積みたい。
- ・実習をしていく中で、疲れてきたタイミングで作業が雑になっていったので、そういう時こそ基本に戻り、ていねいな作業を取り組んでいきたいと思う。
- ・毎日、毎週、毎月の点検や用途に合わせた刈刃の選択等については、職場（現場）でさっそく取り組みたい。
- ・日頃の刈払機のメンテナンス等にもつとめることで、作業中の事故のリスクを軽減できることを学んだ。

-8-

●特別教育修了証を発行

○チェーンソーの構造、使用方法などを学ぶ

○安全で正確な伐倒方法や造材方法などを学ぶ

○間伐木の選木方法などを学ぶ



-9-

受講生の声（抜粋） 〈チェーンソー〉

- ・ かかり木処理は本当に怖いので、かかり木にしない様な伐倒を心がけるなど初心に戻って作業をする。
- ・ 教科書などで教えてもらうことと、実際に体験するのでは全然違って難しかった。
- ・ 受け口、追い口を作る際のマーキングなど、一つ一つの作業の基本を忘れずに、安全第一で作業を取り組んでいこうと思う。
- ・ ソーチェーンの目立てはフック型にすると食込みはいいが振動が増えた。
- ・ ソーチェーンの刃が研げてないとせっかく良い道具を使っても意味がないのでしっかり刃を研ぐ。
- ・ 職場では安全確認をし、自分の命も周りの人の命を守るような仕事をしたい。

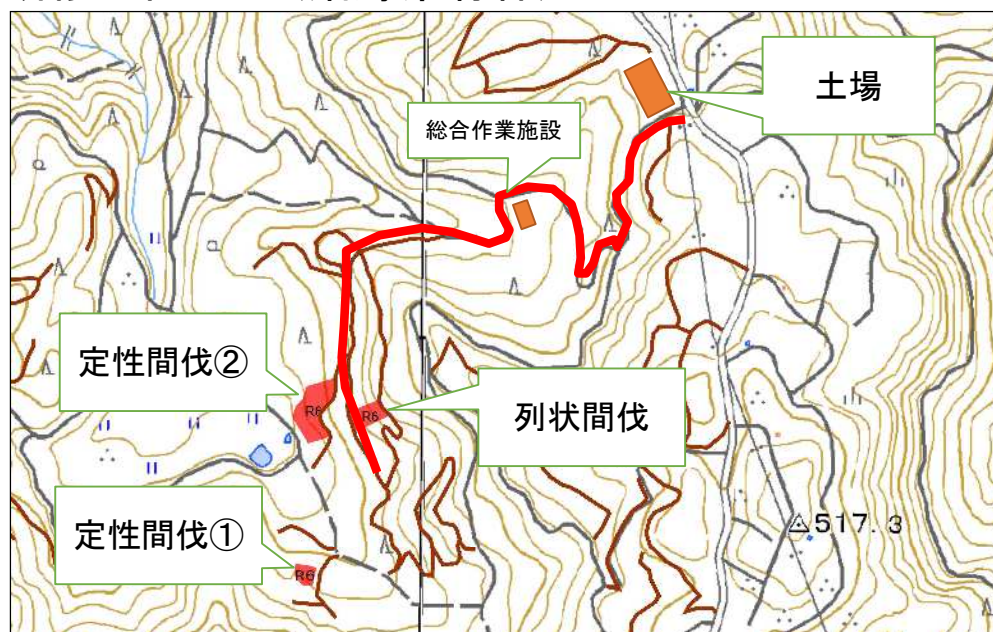
- 特別教育修了証(走行集材機械の運転の業務、伐木等機械の運転の業務)を発行
- 走行集材機械(フォワーダなど)の構造、作業方法などを学ぶ
- 伐木等機械(プロセッサ等)の構造、作業方法などを学ぶ



受講生の声 (抜粋) 〈高性能林業機械〉

- ・ 機械の操作は、自由が制限される作業であり、自分が思ったように扱えず、危険と隣合せということを学んだ。
- ・ グラップル操作が苦手なので会社でしっかりと学びたい。
- ・ グラップルで材をつかむ時、つかむ位置で機体がグラついたりしていたので難しかった。
- ・ プロセッサでの作業は、手元のレバーで材の切断や測長等の操作をするが、全体を見ながらの作業となるので難しかった。
- ・ プロセッサの運転が特に難しかった。
- ・ プロセッサ、フォワーダをもうすこし操作したかった。
- ・ プロセッサとフォワーダは、アームやブーム操作時に機体が不安定になるため、急な発進・旋回などには気をつけていきたい。

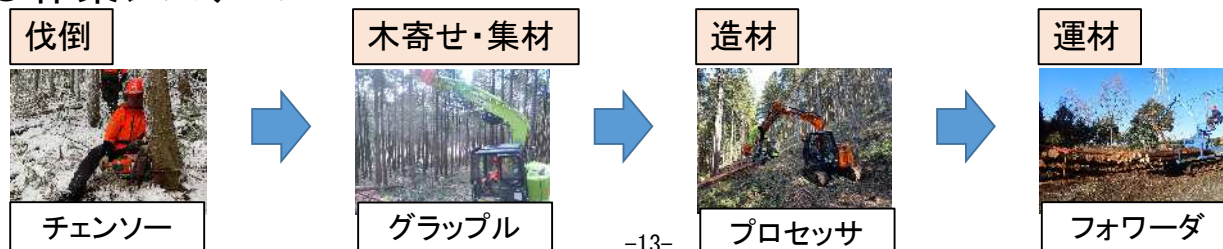
○研修フィールド(嬉野県有林)



間伐は2班で実施した。

間伐材は、下記システムで農道に隣接した土場まで運材した。

○作業システム



-13-

県(林業試験場)以外で実施した講習等

2月3～8日 (6.0日) 車両系建設機械運転技能講習

キャタピラー九州(株)
佐賀教習センター

技能講習

◎労働安全衛生法による技能講習修了証を取得

2月18～20日 (3.0日) 林業就業実体験研修

県内林業事業体

○受講生が県内の林業事業体等のうち3者を訪問し、職員との交流や作業見学・体験

林業試験場長祝辞



修了証授与



全員無事に修了しました!!

-15-

受講生の声（抜粋） 〈講習会を終えて〉

ゼロからのスタートだった。
4人で切磋琢磨しながら、この縁を大切にしたい。



同世代の仲間と作業をすることができ、縁ができたので、何かあった時に相談できる。



講習会で学んだことを基本として、明日から実践したい。



講習会に参加してさらに林業に興味があった。今後も基本を忠実にしたい。



受講生の声（抜粋） 〈全体〉

- 自分の仕事を分かっていないとやりがいも持てないし、周りに勧めることも出来ないので、林業の基礎を学べて良かった。
- 地形的に木がどの様に倒れるか予想できる様になり、倒すべき方向等も分かる様になった。
- チェンソーの目立てをしっかりと学べたので、今後に活かしていきたい。
- 重機を動かす際、急発進、急旋回をしないこと、他の周りの人にケガをさせないような運転をしていきたい。
- このアカデミーで学んだ事を基本として、県内の森林を健康に行きたい。
- 森を守ること、その木や自然を次の世代につなげていくことを考えて仕事をしていきたい

-17-



研修生にケガ等なく、講習会を終えることができました。



-18-